



中央ウェイ

11月号

感染者数減少の現状を考える

副校長 姫野 滋子

2か月前の中央ウェイの巻頭言に、「東京都での感染者数の増加に歯止めがかからない状況」と書きました。あのころ、「このあと日本は、学校の生活は、どうなってしまうのか…」と心配していましたが、不安は的中せず、東京都の感染者数は低い数値が続いています。東京都に出されていたリバウンド防止期間も終わり、時差通学などの感染症対策は継続するものの、学校における活動や行事など、できることも増えていきます。準備の進んでいる三つ葉祭は、残念ながら計画通り、来校者なしの動画配信の形式で実施いたしますが、その後の教育活動については徐々に平常に近い形に戻る予定です。感染拡大がそのまま収まることを、切に願っています。

誰も経験したことのない状況下において、本校では、様々な方法を模索して教育活動を続けてまいりました。これからは、再度の感染拡大に十分に注意しながら、活動内容などを検討して学校運営を続けてまいります。オンライン学習や、予定変更の御連絡についてなど、御意見もあろうかと思えます。ぜひ、学校にお伝えいただき、改善につなげていきたいと考えております。

また、厳しい制約が減ることにより、感染症に対する緊張感が薄れていくことについても、気を付けなくてはなりません。気持ち的には穏やかに過ごしつつも、必要な感染症対策は緩まないよう、学校でも指導を続けますので、御家庭でも体調管理や消毒など、これまでの対策を継続していただきますよう、お願いいたします。

さて、校長先生が先月号の中央ウェイで「読書の秋」について書いていたので、今月は「芸術の秋」について書こうと思います。

私は昔から、絵を描いたり物を作ったりするのが大好きで、今でも時々、作り物をします。少し前に小麦粉粘土でパンを作りました。小麦粉に、たっぷりの塩と水、少量の油を入れ、パンを作るときと同じようにこねます(写真1)。パン生地と同じように、つやつやになったら(写真2)、絵の具を混ぜて、いろいろな色の粘土を作ります(写真3)。パン屋さんのサイトの写真を見ながら、5cm程度のいろんなパンを作りました(写真4)。オーブンで焼いて、冷めたらニス塗って(写真5)、出来上がりです。

それが楽しかったので、先日、同じく小麦粉粘土でかぼちゃを作り(写真5)、秋のリースを作りました(写真6)。

「芸術」と言えるかどうかは分かりませんが、私は、物を作ると気持ちが落ち着きます。疲れたり、悩みがあったりするときには、作り物をします。絵や工芸作品などを見るのも大好きです。中央の皆さんは勉強が忙しい時期だとは思いますが、気分転換に「芸術の秋」を楽しんでみてはいかがでしょうか。



写真1



写真3



写真4



写真6



写真2



写真5



写真7